



かけはし



ワールドカップから…

なぜなに
パワー

◆サッカーのワールドカップはドイツの優勝で幕を閉じました。みなさんが一生懸命応援していた日本は、残念ながら決勝トーナメントには進めませんでした。世界との差を見せつけられたような気もしますが、4年後への期待を感じさせてくれるとともに、選手たちの懸命にゴールをねらう姿に感動を覚えた方も多かったのではないのでしょうか。



◆閑話休題（それはさておき）。

ブラジル、メキシコ、クロアチア、カメルーン、オランダ、チリ、スペイン、オーストラリア、コロンビア、ギリシャ、コートジボワール、日本、コスタリカ、ウルグアイ、イタリア、イングランド、フランス、スイス、エクアドル、ホンジュラス、アルゼンチン、ナイジェリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、イラン、ドイツ、アメリカ、ポルトガル、ガーナ、ベルギー、アルジェリア、ロシア、韓国。本大会に出場した全32カ国です。

みなさんは、このうちいくつかの国の名前を知っていたでしょうか？また、それぞれの国は、どの大陸にあるのでしょうか？どんな言語を使っているのでしょうか？どれぐらいの人口が住んでいるのでしょうか？首都はどこでしょうか？面積は日本より大きいのでしょうか？小さいのでしょうか？出場32カ国以外に、いったい世界にはいくつかの国があるのでしょうか？などなど。

ワールドカップという大会一つとってみても、次から次へと疑問がわいてきます。それを、自分で調べて解いていくのです。自ら課題をもち、自ら学び、自ら解決する。今の子どもたちに求められているのは、そういう力なのです。

◆伯刺西爾、濠太刺利、葡萄牙、白耳義、西班牙、仏蘭西、瑞西、亜爾然丁、阿爾及、露西亞、希臘、宇柳具、伊太利亜、英蘭、墨西哥、和蘭陀、独逸、亜米利加…

上記32カ国すべての国の名前ではありませんが、さて読めるでしょうか？こんな漢字、いつ、だれが考えたのでしょうか？

少し発展させてみると、こんな学習をすることもできます。要は、一つの出来事をきっかけに、自分の興味や関心の幅を広げて、自主的・主体的に学習に取り組んでみるのが大切なのです。

夏休みは、そんな学習に取り組む絶好のチャンスです。7月19日から始まる44日間。自分の中に眠る『なぜなにパワー』をしっかりと目覚めさせてやりましょう。

